

ふるさと  
地球の絶景  
プロジェクト



おうちで  
ピクニック♪

動画はこちら



菊ヶ浜と指月山

# 砂丘で育つ萩の夏みかん



山口県萩市の<sup>しづきやま</sup>指月山は、約1億年前に地下の巨大なマグマが冷え固まって岩石(花こう岩)となり、長い年月をかけて地表に現れたもの。花こう岩が風化して砂となり、日本海側から吹く風がそれを運んで砂丘ができました。<sup>きくがはま</sup>菊ヶ浜は、その一部です。

江戸時代に<sup>あぶがわ</sup>阿武川の河口に築かれた萩城下町は、三角州の低湿地に田んぼ、標高が高い砂丘上に屋敷地が置かれました。これにより阿武川が氾濫しても田に水を逃がし、屋敷地の被害を最小限に抑えたのです。明治になって、職を失った武士たちが屋敷内で育てたのが萩の夏みかんです。海に近い砂丘上だったため、かんきつ類が好む水はけが良く暖かい環境にあり、栽培には好都合だったのです。

